

学校教育目標

学校教育目標

自分は自分を創る主人公

～ 「させられる自分」から「する自分」へ～

学校教育目標の実践構想図

① 学校教 育目標	自分は自分を創る主人公 ～ 「させられる自分」から「する自分」へ～		
② 資質・ 能力	自立する力	学ぶ力	課題を解決する力 人とつながる力 未来を創る力
③ 目指す 児童像	自覚と納得で深く学ぶ 「あたま」の力 【教材・仲間と肯定的に関わり、筋道立てて課題解決を図る子】	より良い自分を創る 「こころ」の力 【自分と仲間の声を聴き、肯定的なつながりを創り出す子】	健康と安全をつくる 「からだ」の力 【“鍛えること” “守ること”を決め、自ら実践する子】
④ 指導の 視点	◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 ◇思考力・判断力・表現力の育成 ◇主体的・肯定的に学びに向かう力の育成	◇他者を思いやり、全ての命に共感する力の育成 ◇他者や社会と肯定的に関わる力の育成 ◇肯定的なつながりでありたい自分になる力の育成	◇基礎体力の育成 ◇運動習慣と基本的生活習慣の定着 ◇健康教育・食育・安全教育の充実
⑤ 実践 理念	教職員は、学びの主人公として子どもを育てる主人公 ～ “支援の要らない子は一人もない” 褒める・認める・喜び ことで支える～ ◇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究 ◇カリキュラム・マネジメントの視点で、学校というチームで子どもを育てる ◇一人一人の発達課題に寄り添い、子どもの学びの事実学ぶ		

学びの主人公として子どもを育てる主人公として

- ① 子どもの声を聴き、子どもに寄り添うこと
- ② 授業で子どもを大切にすること
- ③ あらゆる場面で「褒める」「認める」「喜び」こと
- ④ 「規律」「秩序」「文化」の3つの状態を学級につくる意識を持つこと
- ⑤ 真・善・美という価値基準を使って教育活動の質を高めること